

草加市の歴史さま。こんには。

私は貴市よつ平成二十五年に草加市文化堂を
いたづいた日本文学研究者ドナルド・キーンの息
子、キーン誠^{セツ}でございます。

父ドナルド・キーンの中貴市との関わりは、昭和六十
三年に開催された「奥の細道」シンポジウムにて
講演の機会をいたづいたことに始まり、平成四年
からは「奥の細道」文学子堂の選考委員を務める
など深いお付き合いをさせていたことがありました。

また、父は東日本大震災が起るに際、その惨状を
見て、日本人とともに生きたいと強く思い、国籍を取
得いたしました。そして今回の新型コロナウイルス感
染症がもたらす厳しい状況にも、きっと父は嘆き、
日本人とともに在りたいと願っているに違いないと
思います。

そこでこの度、草加市で厳しい状況のもと、医療や
福祉に携わる数多くの皆さまが、治療や支援
のお仕事が安心してできるようにと願いをこめ、また、
父と関わりの深かった草加市の皆様に、改めて七き

父と私からの感謝の気持ちもこのて、寄付をさせてい
ただくことになりました。少しでもお役に立てれば幸
いに存じます。

不要不急の外出を控えて、ご自宅で過ごされている皆さま
にも大変なご苦勞を感じています。いろいろなこと、存じま
すが、草加市の皆さまには、新型コロナウイルスに負つ
ず、前向きに、ご自宅での文化活動などの時間を
楽しんでいただくようお願いしております。
父ドナルド・キーンは高齢になっても多くの書籍を読

み、音楽を聴き、学ぶことを楽しんでいました。文
学や芸術に親しみ、そして教養を深めることは
どのような状況下であれ、子どもに与えるべき励みとな
り、また心を豊かにしてくれるでしょう。

新型コロナウイルスの猛威が収束し、社会に平穏が戻
ったあかつきには、是非草加松原や、父の命名した
「**漸草庵**」白犬の道客山へも訪問させていたが、た
く、その日を楽しみにしております。

一日も早い事態の収束を願うとともに、草加市の
皆さまには、くれぐれもお元気に過ごしてください
ることを、天国の父とともに心からお祈り申し上げま
す。

キーン 誠己



令和二年四月吉日